

“Afterコロナ時代に

おける病院のSDGs”



医師 鶴木 隆
（Sustainable Development Goals）
持続可能な開発目標とは
貧困や飢餓、健康・福祉など
の17の世界目標で2015

年に国連サミットで採択され、これらのゴールを達成することで、あらゆる形態の貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処しながら誰一人取り残されない世界を目指すものだ。

2030年までに17のゴール達成を目指すことから、2020年からは行動の10年」とされ、すでに2年が経とうとしている。

一見すると、一般企業の環境への取り組みや発展途上国への支援といったイメージが強いが、17のゴールを見ると、3番目にすべての人に健康と福祉を」とあり、医療そのものがSDGsの1つとして深く関わっている。

これからの医療機関が注目すべき点は、ゴール8番目「働きがいも経済成長も」と9番目「産業と技術革新の基盤をつくろう」の達成に向けての取り組みである。

人手不足が危惧される医療・介護業界において、働き方の効率化、IT化、テクノロジーの活用で職員の負担を軽減したり、サービスの質の向上への取り組みを行い、発信していくことで、人材確保などにつながっていくことが期待される。さらに、11番目「住み続けられるまちづくりを」と

17番目「パートナーシップで目標を達成しよう」の達成に向けては、すでに病院などが自治体や医師会と地域医療構想や地域包括ケアの構築のために連携協働しているところである。コロナ禍で苦しい今だからこそ、医療機関は保険事業や医療制度の枠組みを超え、患者や地域にとって本当に良いことを考え、実践する時かもしれない。診療報酬を追求する経営は効果も見えやすく、短期的には非常に分かりやすい。しかし、COVID-19の感染拡大で実感したように、目まぐるしく変わる状況や制度の中で、長期的な視点を持つことが難しくなる。afterコロナの時代、病院の持続可能性を考えると、SDGsの考え方は大いに参考になるのではないか。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



思い出 写真館



今年に入ってから通所リハビリテーションでは、利用者さんの昔の写真をお借りして風呂場前の廊下に掲示しています。

皆さんの若かりし頃の写真を見て「キレイだね。」この頃は何をしていたの？」などなど話に花が咲きます。

このように昔の写真、音楽、今まで使っていた馴染み深い家庭用品などを見たり、触れたりしながら、昔の経験や思い出を語り合うことを「回想法」といいます。認知症の方へのアプローチとして注目されています。

最近の記憶を保つことは困難ですが、昔の記憶は保持されています。昔の事を思い出して言葉にしたり、相手の話を聞いて刺激を受けたりすることで脳が活性化し活動性・自発性・集中力の向上や自発語の増加が促され、認知症の進行の予防につながるようです。

回想法は今の自分を認め、人生を豊かにするための手段のひとつと言えます。

是非、皆さんも昔のアルバムを探して思い出に浸ってみてはいかがでしょうか。

そして自慢の写真がございましたらお持ち下さい。



こまくさでもやっています！

いろいろ感染予防対策！
感染対策委員会 田中絵理子

こまくさ入所では、五月に第一回目、六月に第二回目の新型コロナワクチン予防接種が無事に終了しました。
利用者様たちは「流行りの、風邪の予防注射でしょ？」とニュースなどを見ていて、よくご存じでした。マスクの着用や手洗いが身につく、食事前にはお手持きの習慣も出来ました。食堂ホールで歌を歌う時には、アクリル板を立てています。まだまだ、先の見えない現状ですが、感染予防対策を続けていきたいと思っています。
さて、話は変わりますが梅雨の時期になり、毎日ジメジメとしていますね。そうなる心配になるのが食中毒です。こまくさで提供している食事は、すべてに火が通っており、す。きゅうりやレタスにも火が通っており、果物は缶詰のもの、生卵ではなく温泉卵が出ます。栄養士さんや調理師さんの感染予防対策や工夫でとてもおいしいです。これから、暑い夏がやってきます。
おいしい食事を、しっかりと食べて、夏を元気に乗り切りましょう。



こまくさアルバム



新型コロナワクチン
予防接種の風景です。
無事終了致しました。



七夕に願いを
込めて☆
『健康第一』と
『コロナの終息』



梅雨の時期に
利用者さんが
作りました♡



小梅と花梨(かりん)をこまくさの中庭に植えました。
梅は疲労回復や食欲アップ、花梨には風邪の諸症状に効能があるといわれています。
うまく実となり、収穫できたら利用者さんや地域の方にお配りしたいと思っています。
短時間通所リハ 大井

ありがとう
ございました



お知らせ
7月31日をもって、
鶴木隆医師がこまくさ
施設長を退任されます。

8月からは張成浩医師
が新しく施設長に就任
いたします。

編集後記

夏バテとは「体がだるい」「食欲がない」「疲れやすい」「寝不足」などといった夏の暑さによる体調不良の総称です。
症状として頭痛、めまいや立ちくらみ、むくみ、下痢等々。
この暑い夏を乗り切るためにも夏バテを予防することが不可欠です。
日常でマスク着用が当たり前となった今、特に熱中症に気を配りたい。

